

《 体 育 祭 》

9月27日(土)、水前寺陸上競技場において開催されました。前日の雨もすっかり上がり、爽やかな秋晴れのスポーツデーとなりました。創立120周年を記念して、今年は保護者参加のプログラムも生まれ、800m走、綱引き、技巧走等、娘達に混じってがんばる保護者の姿が印象的でした。

中でも、本校伝統の各学年のマスゲームは観客に感動を与えました。1年生は「ソーラン節'08」で若さと勇ましさをアピール。2年生の「Fill Your Life with Smile」でチアリーディングの振り付けでキュートな若さを強調。3年生は伝統の扇の舞「吉野の春」で優雅な舞姿を披露しました。それぞれの学年の個性が光るマスゲームだったと大変好評でした。

最後は例年通り「来た時よりも美しく」を旨とし、競技場を入念に掃除して終わりました。時折吹く心地よい秋風の中、生徒や保護者が一体となったすばらしい体育祭となりました。



《 記念講演会 》

11月18日(火)、熊本県立劇場において蒲島郁夫熊本県知事をお迎えして開催されました。知事の講演「逆境の中にこそ夢がある」では、知事の生い立ちを交えながら知事ご自身の信念をお話しいただきました。知事自身がお持ちになった夢を、地道な努力と様々な人との出会いで築き上げ、達成されたお話は、生徒たちの心に強く訴えるものでした。また、大村詠一氏は講話「善い加減(いいかげん)に生きる」という演題でお話しいただきました。大村氏は11月16日東京体育館で開催されたスズキジャパンカップ2008第25回全日本エアロビック選手権全国大会で一般男子シングルに出場され、念願の初優勝を果たされたばかりでした。エアロビックとの出会い、人との出会い、病気との出会いに感謝し、これからの夢などについてもお話しいただきました。



《 第11回尚綱コンサート&作品展 》

9月13日(土)、熊本県立劇場コンサートホールおよびハワイエにおいて開催され、例年にも増して趣向を凝らしたプログラムで観客を魅了しました。オープニングは、合唱部、ギターマンドリン部の演奏をバックにした書道部の揮毫。初めから観客の目をステージにくぎ付けにしました。尚綱中学、尚綱高校の生徒のみならず、保護者、同窓会、クラブOG、教職員による総力あげでの芸術文化発表会とも言えるもので、合唱、演奏、和装、バレエとバラエティーに富んだ展開となりました。

特にギターマンドリン部OG会「夢」と熊本学園大学マンドリンクラブとのコラボレーションは迫力満点で聴き応えがあり、ハワイエの作品展も大変好評で、多くの人が足を止めて見入っていました。

来年もさらに工夫を凝らした企画で、皆様のご来場をお待ちしています。



《 第17回佐々旗親善剣道錬成大会 》

9月21日(日)、本校体育館にて行われました。県立済々黉高等学校創立110周年を機に始まったこの大会は、例年済々黉高等学校で行われていたが、今年は本校が120周年を迎えるに当たり、本校での開催となりました。参加校は済々黉所縁の県内8つの高等学校で、男子は団体戦、女子は個人戦で争われました。朝から熱戦が続き、男子は優勝・県立鹿本高等学校、準優勝・熊本学園大学付属高等学校、女子は優勝・佐藤さん(鹿本高等学校)、準優勝・坂田真記さん(尚綱高等学校)という結果でした。



女子準優勝・坂田真記選手 尚綱高等学校